

## ドジョウ (ドジョウ科)



**学名** : *Misgurnus anguillicaudatus*

**別名** : ドジョウメ, ドジョッコ, ドジョメ

**大きさ** : 全長約 12 cm

**特徴** : 体は細長く、口ひげは 5 対ある。口ひげの数は、シマドジョウ (3 対, 右下写真) やホトケドジョウ (4 対, ホトケドジョウの項参照) を区別するのにわかりやすい識別点。近年、ドジョウに良く似た国外外来種のカラドジョウ (*Paramisgurnus dabryanus*) が日本各地で確認されている。カラドジョウの口ひげはドジョウと同じ 5 対で区別できないが、カラドジョウはドジョウに比べ口ひげが長いこと、尾柄高が高いこと、尾びれ前方の鰭条数が多いことなどが異なる。しかし区別はやや難しい。

**国内の分布** : 日本の全国各地に分布。

**県内の分布** : 霞ヶ浦水系や利根川水系, 久慈川水系, 那珂川水系, 県北地方の各河川などに分布。水田地帯の水路や水田内でもよくみられる。カラドジョウは, 霞ヶ浦の流入河川である桜川や小野川, 利根川水系の小貝川と鬼怒川などで確認されている。

**県内での生態** : 産卵期は 4~7 月頃。

**備考** : カラドジョウは中国や台湾, 朝鮮半島が原産で, 外来生物法で要注意外来生物に選定されている。

**主な文献** :

レイモン・アザディ (1983) 茨城の淡水魚. 筑波書林, 土浦. 95 pp.

自然環境研究センター編 (2008) 日本の外来生物. 平凡社.

増子勝男 (2010) 茨城県南西地域の魚類. 茨城県自然博物館総合調査報告書. pp. 23-29.

**シマドジョウ 学名** : *Cobitis biwae*



**県内の分布** : 恋瀬川など霞ヶ浦水系の流入河川や那珂川水系, 久慈川水系, 大北川など県北地域の各河川。